

第4回福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

2019 年（令和元年）11月23日



【本日のスケジュール】

- 1 これまでの振り返り・説明 (14:00～14:20)
 - ・第3回検討委員会の振り返り
 - ・地域コミュニティ再構築検討会議(庁内会議)における検討状況について
- 2 持続可能な地域コミュニティ形成モデル事業について (14:20～14:35)
 - ・モデル事業の概要説明
 - ・モデル地域について
- 3 意見交換 (14:35～15:25)
 - ・報告書(案)について説明
 - ・報告書(案)について意見交換

第3回検討委員会の振り返り

<1分間スピーチ>

①所属団体の設立目的 ②所属団体に取り組んできた活動 ③これから求められる活動・これから取り組んでもらいたい活動

高める会
福祉を

- ①「地域共生社会」をめざす。
- ②「居場所づくり」「見守り活動」「生活支援」
- ③高齢者が高齢者を支援している状態であることや、40～50歳代の人をいかに巻きこんでいくかが課題

老人クラブ
連合会

- ①高齢者自身が自らの福祉を向上させる自覚が高まり、老後の幸せは自らの手で創り出す。
- ②健康・友愛・奉仕活動を通じた地域に根ざした福祉活動
- ③身体的・精神的な介護予防活動をして、体力低下・疾病・孤独・孤立を防止する集い、通いの場所づくり、人と人との助け合い、支え合う「地域共生社会」の実現などの活動

社会福祉
協議会

- ①「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」（社会福祉法）と規定されており、全国に設置されている公共性・公益性の高い民間の福祉団体
- ②「福祉を高める会」を中心に高齢者の居場所づくり（サロン活動）、見守り活動、障がい者への相談・支援、災害発生時のボランティア活動
- ③生活するうえでの様々な課題を受け止め解決に向けてつなげていく仕組みづくり、ことわらない相談窓口、多機関連携のためのネットワークの構築、「地域共生社会」と「協働」の中核をめざす。

第3回検討委員会の振り返り

<p style="writing-mode: vertical-rl; color: red; font-weight: bold;">自治会連合会</p>	<p>①学区連合会相互の連絡，環境の整備，良好な地域社会の維持及び形成に資すること。福山市民としての誇りを持ち，市政の進展に大きく寄与する活動を展開し，持続可能な地域コミュニティづくりをめざす。</p> <p>②福山市の「協働のまちづくり」の対等なパートナーとして，地域課題の解決やこれからどうあるべきかを考え「自らのまちは自らがつくる」ということを目標に，「安心・安全なまちづくり」の構築に向けて取り組む。</p> <p>③地域の絆を大切にす活動重点目標として，主に自治会(町内会)組織の充実，加入促進活動</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; color: red; font-weight: bold;">女性連絡協議会</p>	<p>①男女共同参画による，活力と個性ゆたかな地域社会の建設</p> <p>②市内各学区女性会の連携及びその他女性団体との連絡調整，市民生活の向上をめざし，家庭生活の合理化促進，平和学習・人権問題・地産地消・防災等を含めた女性の教養及び地位向上に係る活動</p> <p>③市内外の女性団体との連携，会員やリーダーの成長が鍵を握っている。これまでの取組の継続</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; color: red; font-weight: bold;">学区町連・まち推 (地域づくり塾)</p>	<p>① (まち推) 住民主体の地域づくりに向けて協働のまちづくりを推進 (町連) 各町内会の自治活動について連絡協議し，学区民相互の親睦と福祉増進を図る。</p> <p>② (まち推) 5つの部会で活動 (日吉台くらぶ，文化祭，防災訓練，ばら花壇整備，夕暮れ納涼シアター) (町連) 敬老会</p> <p>③若い世代が活動しやすい場づくりとWi-Fi設備の充実</p>

第3回検討委員会の振り返り

<p>単 位 自 治 会</p> <p>(地域づくり塾)</p>	<p>①会員相互の親睦，福祉増進，民主的な発展及び男女共同参画社会</p> <p>②会長は輪番制だったが，会の持続について昨年度から副会長などの役員と協議</p> <p>③普段意見を言えない人が発言できる場(小さい単位)を開催できるように市から働きかけてほしい。</p>
<p>公衆衛生推進</p> <p>協議会</p>	<p>①地域の生命と生活を守る組織 公衆衛生推進員は市長委嘱だった。(※現在は委嘱していない。) 学区ごとで活動している公衆衛生推進委員会の連合体</p> <p>②生涯にわたる健康づくりと住みよい環境づくりのためのコミュニティ活動の必要性をPR 主な活動は，脱温暖化・子どもと一体となった活動・食生活の改善等の健康づくり</p> <p>③災害前・発災時・発災後に求められる役割があるのではないかと考えている。</p>
<p>PTA連合会</p>	<p>①父母と先生の会，家庭と学校が協力し，教育効果をあげようとする学校単位に結成された教育組織</p> <p>②子どもたちの健やかな成長のために，親と先生ではなく，家庭・学校・地域社会がお互いに協力し合って活動</p> <p>③少子化で子どももPTAも少なくなっているのに，現状を踏まえた活動に見直し，縮小し，役員だけが大変な思いをするのではなく，責任を分担・軽減して多くの人がかかわれる団体をめざす。</p>

第3回検討委員会の振り返り

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">子ども会 育成協議会</p>	<p>①「あの子もこの子もみんなの子」を合言葉に、子どもの健全育成を掲げ、「継続は力なり」をモットーにした子ども会の育成</p> <p>②少年少女親善球技大会，福山市子ども文化祭，ママさんフットベースボール，ジュニアリーダーの養成</p> <p>③育成者の認識と理解を深め，指導者の派遣を行い，多様化する育成会の内容の充実に努める。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まち推 (地域づくり塾)</p>	<p>①住民主体の地域づくりに向けた，地域の課題解決や活性化，コミュニティ育成</p> <p>②4つの部会で，あいさつ運動，ニコニコ訪問，人と人とのつながり強化，安心・安全なまちづくり</p> <p>③市補助金を柔軟に活用できるように検討してほしい。若い世代に活動してもらうために，市の会合の開催時間を考えてもらいたい。(会合は平日日中が多い。)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">明るいまちづくり 協議会</p>	<p>①心豊かな市民意識の高揚を図り，明るく住みよいまちをつくる。「市民憲章」制定後は，各種民主団体との統合・改編を経て現在の組織へ発展 (会員：200余りの地域・団体・企業，1000人以上の個人)</p> <p>②当初ばらのまちづくり運動をはじめとした団体の自主・自立活動をしていたが，「市民憲章」制定後は，「市民憲章」に則って活動 活動とともに組織も大きくなり，市民運動の中心を担ってきた。</p> <p>③根幹に市民憲章運動があり，全国的に市民憲章運動は曲がり角にあると言われている。今後の活動は会員の意向に沿った活動ができるよう組織内で検討する。</p>

第3回検討委員会の振り返り

アドバイザー・委員長の意見

櫻井アドバイザー

- ・ 設立から時間を経た団体もあり、時代も変わっているため目的もそれぞれ変わっていかざるを得ない。今の社会にあった取組なのかどうかという検証は必要ではないか。
- ・ 話し合いの場をきちんと作っていくことが重要である。
- ・ 「何のために」という目的を議論していく中で、団体同士のつながりができる。
- ・ 各団体に組織や事業の連携や統合の可能性もあるのでは。
- ・ 学区単位組織の統合などの動きに対する寛容さが、市行政も全市組織も必要

委員長

- ・ 社会経済情勢や市民の暮らし方も「変化」しているため、課題も変化している。
- ・ 検証、振り返りが大事だと思う。
- ・ 地域コミュニティも「負のスパイラル」に陥っているのでは。市民、組織、行政のみんなが「発想を変える」「今までの取組方法を変える」「関わり方を変える」ことをしないと「負のスパイラル」から脱却できない。

地域コミュニティ再構築検討会議(庁内会議)における検討状況

◆これまでの検討内容

地域への依頼状況
(回覧・動員)



負担軽減に向けた検討

地域への支援の現状
(委託・補助金・負担金)



あり方の検討

を全庁で共有

◆改善に向けた検討

- ・地域選出されている各種委員の必要性
- ・回覧数の削減とデジタル媒体の活用
- ・動員のあり方
- ・類似事業の統合
- ・くらしを支え合う仕組のあり方
- ・行政と地域の役割分担
- ・庁内LANによる所管を超えた行事の共有化